鉄道で行く千葉

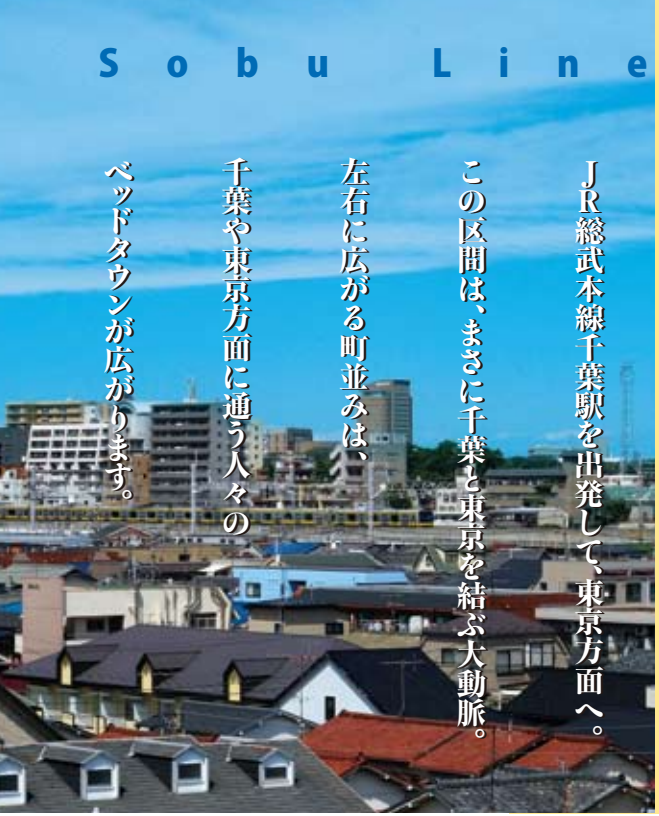
第2回 JR総武本線 その❷

Sobu Line Part:2

- 千葉
- 西千葉
- 稲毛
- 新検見川
- 幕張
- 幕張本郷
- 津田沼
- 東船橋
- 船橋
- 西船橋
- 下総中山
- 本八幡
- 市川

JR総武本線を並走する、E231系普通電車（手前）とE217系快速電車（奥）〈西船橋付近〉

Sobu Line Part：2



JR総武本線千葉駅を出発して、東京方面へ。
この区間は、まさに千葉と東京を結ぶ大動脈。
左右に広がる町並みは、
千葉や東京方面に通う人々の
ベッドタウンが広がります。

JR総武本線は、東京からJR千葉駅を経由して銚子駅までをつなぐ路線です。今回ご紹介する千葉駅から市川駅（東京方面）へ至る区間は、千葉と東京を結ぶ大動脈。「通勤電車」として毎日沢山のお客様が利用しています。

総武本線は、今から110年以上前の1894年（明治27年）に開業しました。開業当初は、市川駅を基点に銚子駅まで伸びる、千葉県内だけで活躍する鉄道でした。これが、御茶ノ水駅まで伸び、現在のような姿になったのは、1932年（昭和7年）のこと。1935年（昭和10年）には、御茶ノ水駅と千葉駅の間で車両が電化され、「電車」の時代となりました。1969年（昭和44年）には営団地下鉄、東西線が西船橋駅、津田沼駅間に乗り入れ。1974年（昭和49年）には銚子駅までの電化が完成し、東京駅からの直通電車特急「しおさい」の運行が開始しました。

現在活躍中のJR総武本線の車両

（普通）E231系900番台

JR東日本の標準型車両で、情報技術の大幅な導入により制御システムを一新した車両です。2000年12月にデビューし現在通勤電車の主力車両です。

（普通）209系500番台

老朽化の激しかった103系の入れ替えの為、1998年に登場し、車体は従来の通勤電車と比べ、車体幅を150mm拡大させたJR東日本初のワイドボディー車となりました。

（快速）E217系

総武快速線で運用されていた113系の入れ替えを目的として1994年に登場しました。現在は、千葉と横須賀線・総武本線に使用されている快速専用車両です。（成東まで）

（特急）しおさい　255系

1993年にJR東日本初の新制御システム採用の特急車両として登場しました。愛称は「Boso View Express」。千葉県房総半島を走行することから「房総特急」とも呼ばれています。

（特急）しおさい　E257系

2005年から投入され、房総特急のイメージカラーであるホワイト（夏のビーチ）をベースに、ブルー（深みのある太平洋）・イエロー（明るい陽光と房総に咲く菜の花）によってデザインされています。

history

◆総武本線の歴史

◎1894年（明治27年）7月20日
総武鉄道 市川～佐倉間開業。
◎1907年（明治40年）9月1日
鉄道国有法により買収、国有化。
◎1909年（明治42年）10月12日
国有鉄道線路名称設定 総武本線。
◎1932年（昭和7年）7月1日
御茶ノ水～両国間電化。
◎1933年（昭和8年）
両国～市川間電化／ 3月15日。
市川～船橋間電化／ 9月15日。
◎1935年（昭和10年）7月1日
船橋～千葉間電化。
◎1979年（昭和54年）7月7日
新検見川～千葉間複々線化。
◎1981年（昭和56年）7月5日
津田沼～新検見川間複々線化。
◎1993年（平成5年）10月31日
市川～千葉間でATS-P使用開始。

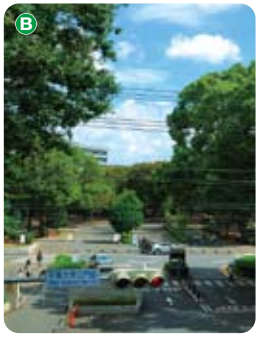
※ATS（自動列車停止装置）
列車が停止信号に接近すると、列車を自動的に停止させる装置。その後さらに、進化し安全性を高めたものがATS-Pです。

1964年（昭和39年）当時の総武本線、御茶ノ水での風景。千葉行きの車両がホームに停車しています。車体の色はとてもおしゃれな茶色をしていました。

総武本線といえば、そのシンボルカラーは明るいカナリヤイエロー。昭和の時代を中心に活躍した車両は、今のような黄色いラインではなく、車両全体が明るいカナリヤイエローに配色されていました。写真は1977年（昭和52年）ごろに撮影された101系の車両です。

JR総武本線に乗って。

ＪＲ千葉駅から総武本線に乗って東京方面へ。この地域は、千葉や東京方面に通う人たちが住む巨大なベッドタウンがひろがります。車窓から見える、たくさんの屋根やビル。しかし、そんな風景の中にも、意外に沢山の発見があります。



西千葉駅を出てすぐ、進行方向右手に広がる広々とした森。ここは、もう60年近い歴史のある千葉大学のキャンパスです。

新検見川駅を出発してすぐ、進行方向左手、線路のすぐそばの小高い山。ここには検見川神社があります。その起源は1200年前までさかのぼると言われている、とても歴史のある神社です。

JR総武本線で発見したお手軽グルメ！

津田沼駅

おにぎり　てまり

（JR津田沼駅構内）

❶紅鮭……150円(税込)
❷わさび京菜……130円(税込)
❸天むす……200円(税込)

新潟県産コシヒカリを100%使用し、アルカリイオン水で炊き上げたおにぎり。好きな味を選んで、お出かけのお供に是非！

西船橋駅

TokyoRoux Dila　西船橋店

（JR西船橋駅構内）

●トーキョーカレー 850円(税込)

駅構内に人気のカレー店が。ご飯時には行列ができるほどの人気のカレーショップがここ「トーキョールー」。ベーシックなカレーのほかにも、季節メニューのパンプキンカレーも人気です。

車窓からの風景

スペシャルビューポイント

夕暮れの江戸川！

千葉から東京方面へ。千葉県と東京都の県境に流れる江戸川。市川駅を過ぎると間もなく左右に広々とした水面が広がります。ちょうど夕刻の時間にここを通過することが出来たら、それは見事な風景を見ることができます。

特に、斜めから差し込む夕陽が水面に光る様子は、とても印象的です。

幕張本郷駅の前後、東京方面に向かって右側。ここはJRの各路線で活躍する車両の基地、幕張車両センターです。あらゆる車両が車窓から見られます。

幕張本郷駅を出て、津田沼駅に差し掛かるすぐ手前。進行方向左側には、森と池の風景が見られます。ここは菊田水鳥公園です。

下総中山駅に差し掛かるころ、進行方向右側、少し遠方に見える和風の建物。これは、日蓮宗大本山法華経寺の五重塔です。法華経寺は鎌倉時代の高僧日蓮聖人が最初に開かれたお寺で、年間を通して多くの人が参拝に訪れています。

街中に温泉！

西船橋駅を出て、下総中山駅に差し掛かる手前。進行方向右側に、珍しい看板(煙突)が見えます。そこには、街中にありながら、「天然ラジウム鉱泉 滝の湯」の文字。調べてみると、地下300mから湧き出る天然ラジウム鉱泉が楽しめます。

下総中山駅を通過すると、左側にニッケコルトンプラザの大きな建物が見えます。ここは、あらゆるジャンルのお買い物が楽しめる大型ショッピングモールです。

千葉駅から東京方面へ向かう総武本線の代表的な風景。ベッドタウンを象徴する、屋根の連なる風景です。

JR総武本線沿線の、家族で出かけられる遊び場情報

鉄道で出かけよう！

車窓からの風景や道草を思い切り楽しんだら、今度は本格的に遊べる場所を訪ねてみましょう。電車を使えばすぐに出かけられ、家族で思い切り楽しめるポイントをご紹介します。

千葉県立現代産業科学館

科学技術と人間とのかかわりについて、遊んで体験しながら知ることが出来る博物館です。子どもが大喜びの体験施設も充実。見て、触って、体験して。大人から子どもまで存分に楽しむことが出来ます。

「実験シアター」では、マイナス196度の液体窒素を使った冷凍実験などを見ることができます。

「創造の広場」では、来場者が参加し体験できる展示がたくさん用意されています。身の回りで活躍するお馴染みの品々をテーマに、科学現象の不思議さや美しさを体験する科学の広場です。

●開館日／火～日曜日　午前9時～午後4時30分
　※入館は4時まで
●休館日／毎週月曜日
　（※ただし、月曜日が祝日の場合は翌日が休館日）
　（※館内メンテナンスによる休館日あり）
●料　金／中学生以下・65歳以上無料
　高・大学生150円、大人300円
●交　通／JR総武本線本八幡駅、下総中山駅から徒歩15分。
　※本八幡駅北口からニッケコルトンプラザ行き
　無料シャトルバスも利用可
●駐車場／あり　90分まで無料。以後30分ごとに100円
●問い合わせ／ 047-379-2005
●住　所／〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-3
●公式サイト（http://www.chiba-muse.or.jp/SCIENCE/）

船橋市総合教育センター　プラネタリウム館

千葉県内で最大規模のプラネタリウムです。四季折々の星座の姿を、伝説や逸話とともに知ることができます。その日に見える星座の姿や星座の見つけ方も教えてくれるので、家に帰ってから、もう一度楽しむことができます。

日食など太陽の活動を分かりやすく解説したビデオコーナーもあります。

投映は2本立てで、子ども向け投映と一般向け投映を行っています。

●投映日／毎週土・日曜日
　午前11時が子ども向け投映
　午後2時、3時30分が一般向け投映
　火曜日～金曜日は団体予約観覧
●休館日／毎週月曜日・祝日・ソフト入替日等
　（※ただし、月曜日が祝日の場合は翌日も休館日）
　（詳細はホームページ等でご確認ください）
●料　金／4歳～中学生210円、大人420円（高校生以上）
●交　通／JR総武本線東船橋駅北口徒歩15分
●駐車場／あり　100台（無料）
●問い合わせ／ 047-422-7732
●住　所／〒273-0863 千葉県船橋市東町834
●公式サイト（http://www.gec.funabashi.ed.jp/planetarium）

※子ども向け放映は、4歳程度から小学校低学年位のお子様まで楽しめる内容となっております。

駅前発見！探してみよう！

船橋名物『さざんかさっちゃん！』

JR船橋駅の中央改札口を出て左方向。東武百貨店に向かう途中には、お母さんに抱かれニッコリと笑うブロンズの像。その名は、さざんかさっちゃん。もちろん「さっちゃん」は、子どもの名前。この親子の像は、船橋ではとても有名な待ち合わせ場所。しかし単なる銅像ではなく、なんと募金箱。船橋市立養護学校の開校を記念して「さざんか募金運動」という運動がはじまり、1980年に建てられたものです。名前は市民投票によって決められました。

調べてみよう！総武線クイズ？

総武本線の車両のシンボルカラー「黄色」の別名は？

1.メタリックイエロー

2.カナリヤイエロー

3.菜の花イエロー

※正解は次号紙面で！

※前回のクイズの正解　総武線の名前の由来は「3」上総・下総、武蔵を結ぶ路線だったため

写真提供／トーキョールー株式会社　千葉県立現代産業科学館　船橋市総合教育センター プラネタリウム館：瀧脇収二氏　中村良夫氏

2009.11（次回発行／ 2009年12月24日）

京葉銀行 BANK

ミックス品 FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです www.fsc.org Cert no. SGS-COC-001466 © 1996 Forest Stewardship Council

VEGETABLE OIL INK　この冊子の印刷には、環境に配慮した植物性インキを使用しています。